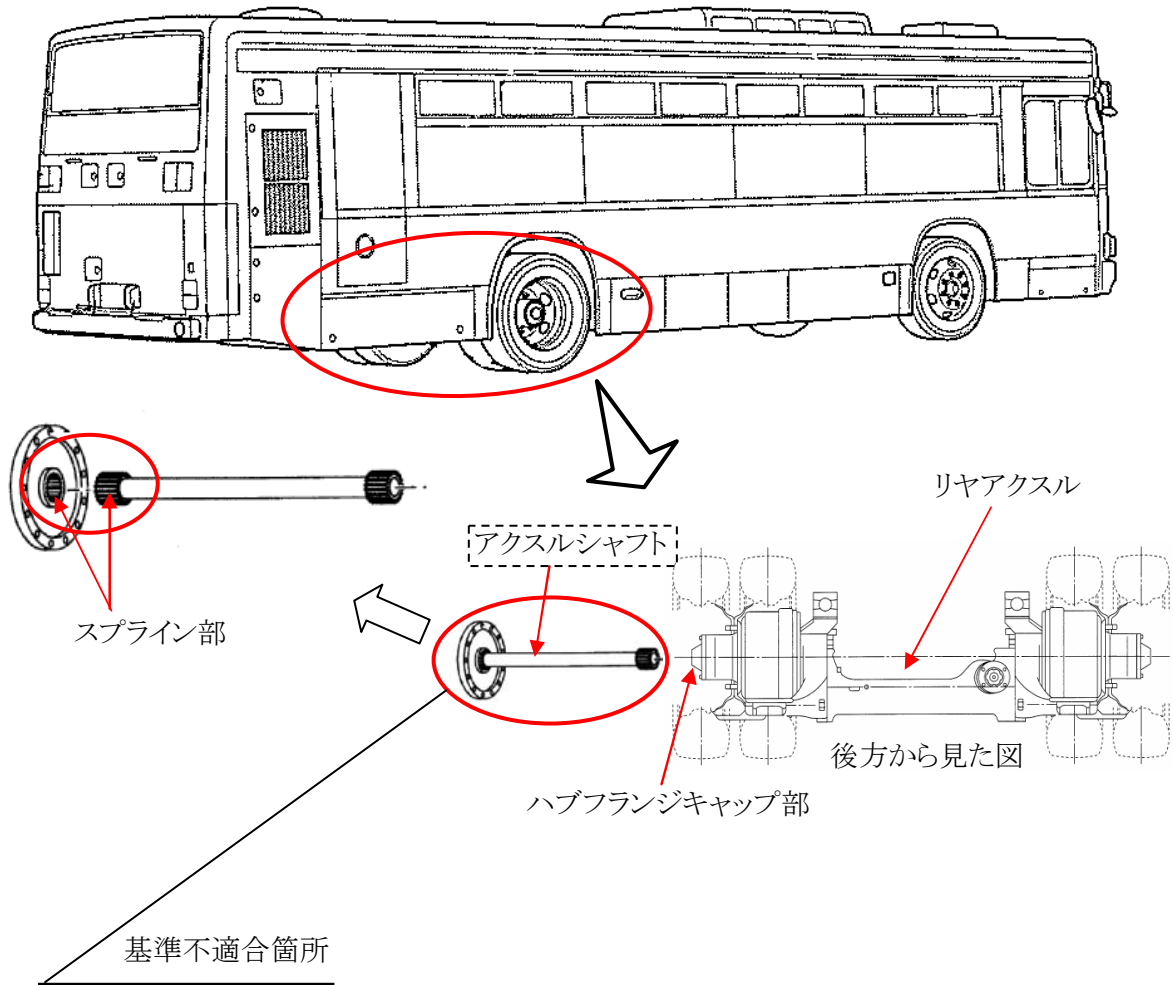


改善箇所説明図



- ①後車軸のアクスルシャフトの強度が不足しているものがあるため、発進・制動時の高い応力が繰り返しかかると、亀裂が生じるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、アクスルシャフトが折損し、走行不能となるおそれがある。
- ②後車軸のハブフランジキャップ部の防水性が不十分なため、内部に水が浸入し、アクスルシャフトとハブフランジを結合するスプライン部が錆びるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、錆が進行して、スプライン部が異常に摩滅し、最悪の場合、駆動力が伝達されず、走行不能となるおそれがある。

改善の内容：①全車両点検し、強度が不足しているものは対策品に交換する。
②全車両点検し、スプライン周辺部が錆びているものは対策品に交換する。

識別：左後方エンジン点検扉の内側に白色ペイントを塗布する。

注： は必要に応じて交換する部品を示す。